

俳人協会主催「第十四回九州俳句大会」成績

大会賞

蝶の昼赤子てのひらより眠り

大分

富川

元女

準大会賞

医大生のままの弟長崎忌

福岡

古賀

紀子

長崎県文芸協会賞

千羽鶴一羽も翔べぬ長崎忌

長崎

牧嶋

貴美子

長崎県俳人会賞

同居するだけの孝行瓜を揉む

大分

横山

八千代

長崎新聞社賞

星飛ぶや父母の戦後の長かりし

鹿児島

中間

恵子

西日本新聞社賞

塩壺にしほと母の字夜の秋

愛知

古賀

勇理央

NBC長崎放送賞

鷹柱風の螺旋を競りのぼる

長崎

奥村

ちか

NCC長崎文化放送賞

どの坂も海より生まれ花朱鸞

長崎

荒井

千佐代

本部推薦選者

能村 研三選

特選 鷹柱風の螺旋を競りのぼる

長崎

奥村 ちか

秀逸 千の張り田水や千の日の光

大分

坪内 勉

秀逸 隠し絵のなき平和てふ長崎忌

大分

いとう 鶴

鈴木 しげを選

特選 枇杷の実を挽ぐ手聖母に祈りけり

熊本

建部 洋子

秀逸 ふるさとの被爆の山に墓参かな

長崎

小谷 一夫

秀逸 母となり母のロザリオ長崎忌

日高 すなお

名村 早智子選

秀逸	半世紀まえの指切り浮いて来い	大分	富川	元女
深野 敦子選				
特選	雨傘をけふは日傘にオランダ坂	熊本	加藤	いろは
秀逸	ところ天箸にからず散利奴留遠	佐賀	香田	春枝
秀逸	空中の楼閣たてる蜘蛛の糸	台湾	洪 郁分	
布施	伊夜子選			
特選	どの坂も海より生まれ花朱鸞	長崎	荒井	千佐代
秀逸	朴咲けり御代あたらしき校庭に	鹿児島	川南	清子
秀逸	乗り換への鳥栖にうどんを喰ひ帰省	大分	睦	ほたるこ
各県支部長				
服部	たか子選			
特選	神さまの話などして子どもの日	長崎	西山	東洋
秀逸	苗札に令和天皇即位の日	大分	松本	公節
秀逸	水打つて花街は今も龍馬待つ	福岡	芝山	義和
栗林	白霜選			
特選	千羽鶴一羽も翔べぬ長崎忌	長崎	牧嶋	貴美子
秀逸	地震つづく大和国原冴返る	福岡	木下	武久
秀逸	八月の悼み心や火星照る	川口	正博	
小松	生長選			
特選	塩壺にしほと母の字夜の秋	宮崎	宮崎	
秀逸	螢が舞わねば何もない母郷	福岡	福岡	
秀逸	母の里柚子も赤子もころがして	松浦	木下	
永田	満徳選			
特選	断崖は死を呼ぶ所沖縄忌	長崎	小谷	一夫
秀逸	掃苔や父より先の祖を知らず	福岡	黒田	さだむ
秀逸	極寒の被爆マリアの眼窩かな	鹿児島	大川畑	光詳
石川	誠一選			
特選	ときめきのありて可笑しや白日傘	鹿児島	中間	恵子
秀逸	殉教の島々虹の環の中に	大分	阿部	嬉子
秀逸	三面鏡一枚に雪降りみたり	荒井	千佐代	
淵脇	護選			

特選	銃眼を抜けて色なき風となる	長崎	小谷	一夫
秀逸	海境の鐘鳴り止まず長崎忌	鹿児島	中間	恵子
秀逸	田を植ゑてとろりと眠き石仏	熊本	菅野	隆明
宮城	章選	鹿児島	大平	正道
特選	星飛ぶや父母の戦後の長かりし	鹿児島	中間	恵子
秀逸	山原は星のふるさと水鶴啼く	沖縄	伊是名	白蜂
秀逸	長崎は楽譜にたどる旅涼し	大分	阿部	正調
西山	常好選	鹿児島	坂本	眞砂
特選	定年の無き夫といて葱の花	長崎	坂本	眞砂
秀逸	殉教の島を礫に鳥帰る	鹿児島	藤元	睦子
秀逸	銀漢の支流のひとつ被爆川	長崎	荒井	千佐代
当日句入選作品				
大会賞				
長崎	長崎は海より明けてくんち来る	長崎	牛飼	瑞栄
準大会賞				
蓮の実の飛んで爆心地の動悸	福岡	松隈	桂子	
池田 謙児特選	長崎	牛飼	瑞枝	
この辺りむかし被爆田曼珠沙華	鹿児島	池田	貴之	
小浜 史都女特選	鹿児島	窪見	れい	
天高し胸板厚き平和像	長崎	富岡	三枝子	
加藤 いろは特選	長崎	中島	久子	
あどけなき聖人の額秋日濃し	鹿児島	富岡	多珂子	
かみあし 律特選	鹿児島	三枝子		
捨てきれぬ長崎弁や秋刀魚焼く	長崎			
岡崎 照明特選	長崎			
来崎のローマ法王小鳥来る	長崎			
大川畑 光詳特選	長崎			
殉教の白砂の浜や鳥渡る	長崎			
西 史紀特選	長崎			
流星や「一番香」の中の闇	長崎			
長崎 植木 千幸	長崎			